ROTARY INTERNATIONAL
Rotary Club of Matsue
松江ロータリー・クラブ 週報
MATSUE WEEKLY
2025-26年度国際ロータリーのメッセージ
よいことのために手を取りあおう
No. 3471

事務所　〒690-0874 松江市中原町167-1-3F　TEL 21-6143　FAX 31-8985
HP: http://www.matsue-rotary.jp　E-mail: office@matsue-rotary.jp

第 3471 回例会（令和 7 年 9 月24日･水）

今週のプログラム

9 月24日（水）　ゲストスピーチ

「まちづくり、さけづくり」

加茂福酒造㈱ 代表取締役
㈱UNITY 代表取締役　**福本（ふくもと）　一（はじめ）氏**

加茂福酒造㈱ 取締役
㈱天神Products 代表取締役　**坪倉奈水（つぼくらなみ）氏**

次週のプログラム

10月 1 日（水）　会員スピーチ

「四国遍路八十八か所」

三菱電機㈱山陰営業所長　**田窪文博（たくぼふみひろ）氏**

●例会変更のお知らせ

月　日	クラブ名	受付場所
9 月25日(木)	松　江　東	ホテル一畑
9 月29日(月)	松　江　南	松江エクセルホテル東急
9 月30日(火)	境　　港	境港ロータリークラブ事務局（境港市上道町3147）
10月14日(火)	境　　港	境港ロータリークラブ事務局（境港市上道町3147）
10月14日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
10月16日(木)	松　江　東	ホテル一畑
10月21日(火)	出　　雲	ホテル武志山荘
10月27日(月)	松　江　南	松江エクセルホテル東急
10月28日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
10月30日(木)	松　江　東	ホテル一畑
11月 4 日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
11月25日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑

2025年9月～10月の予定

9 月24日(水)　バイキング形式の食事
10月 3 日(金)　地区大会ゴルフ大会
10月 4 日(土)　新会員セミナー
ポリオ根絶ライド歓迎式
11時40分～12時10分
カラコロ工房
10月 5 日(日)　地区大会本会議　10時～15時
米子コンベンションセンター
記念講演　政治評論家・作家
竹田恒泰氏
※ **10月15日(水)**　休会
10月22日(水)　バイキング形式の食事
※ **10月29日(水)**　休会

第3470回例会記録　令和 7 年 9 月10日（水・雨）

	会員数（人）	出席者数（人）	欠席者数（人）	出席率（%）（出席免除会員含む）	前々回補正（%）（出席免除会員含む）
松江クラブ	58	37（リアル 31 / オンライン 6）	21	58.49	86.27

メーキャップ：大関、錦織、山田（松江南）、田中（松江しんじ湖）、大谷浩、勝谷有、原田（家族交流会）

会務報告

後藤　勇会長

● ゲストスピーカー紹介
写真家　川本貢功（かわもとつぐのり）様

● 衛星クラブ4名出席

友塚順子幹事

● 次週9月17日（水）は休会。
次回例会9月24日（水）、バイキング形式の食事になりますので、時間にご注意下さい。

● 家族交流　BBQの会の参加申し込みは9月12日（金）までに事務局までお知らせください。

● 昨日事務局より、地区大会についての連絡をさせていただいております。
・服装については、ネクタイ、上着着用
・松江4クラブ合同貸切バスの乗車時間、参加者名簿等についてお知らせ致しました。
・自家用車で参加の方の駐車場につきましては、ガバナー事務所より連絡が来次第、お知らせします。

委員会報告

● 社会奉仕委員会　　佐藤尚士委員長
　11月職場訪問例会を計画しています。
　後日ご案内いたします。
● 白根澄男会場監督より本日の出席率報告

プログラム

「郷土の芸術を鑑賞する例会
　地元の写真家　川本貢功（かわもとつぐのり）氏を招いて」
　写真家　川本貢功（かわもとつぐのり）氏

㈱佐藤組様での移動例会

ニコニコ箱

14,000 円

後藤（ゲストスピーカーの川本貢功さまへ）
後藤（例会の場所をご提供いただいた佐藤組の佐藤尚士会員と、会場設営や会員輸送にご尽力いただいた関係会員の皆様へ、松江RC初の試みです。ありがとうございました。）
友塚（川本貢功様をお迎えして）
川本修（本日は父に貴重な機会を与えて頂き感謝申し上げます。）
佐藤尚（みなさまようこそおいで下さいました。本日のスピーカー川本様に）
加藤（今日は川本貢功さんのお話、楽しみにしております。）
木村（10年くらい前にですが、川本先生の写真教室に通い、県の写真展に入選することができました。ありがとうございました。）
小林（川本貢功先生のお話を楽しみに。）
藤原（川本先生には私が30代の県職員の時代からたいへんお世話になりました。お元気な姿をみて、うれしかったです。）
堀江（川本貢功さんの写真他楽しませていただきました。）
森岡（佐藤様、お世話になります。ありがとうございます。）
事務局（移動例会の準備、皆様にお世話になりました。ありがとうございました。）

ベストメッセージ賞：該当者なし
司会　白根澄男会場監督

青少年奉仕委員会

9月4日（木）島根大学　青少年奉仕委員会（大谷浩会員、和田昇司会員、森岡隆行会員）
青少年奉仕委員会の活動として米山記念奨学生の段 亜楠さんと面談をしました。
段さんは島根大学・修士課程・人間社会科学研究科を今月卒業されます。
研究のテーマでもある「川端康成『千羽鶴』における生と死の美学」について、日本と中国の死生観の違いを交えてお話し頂きました。続いて、研究論文やこれまでの大学生活などについて意見交換をしました。

ひとこと随想

戦後の日本を救った小泉八雲とボナー・フェラーズ

堀江　貴文

先日、松江市の医師会、歯科医師会、薬剤師会からなる「三師会」総会で小泉凡さんに講演をしていただきました。本年10月からのNHK朝ドラ「ばけばけ」にちなんでラフカディオ・ハーン（Lafcadio Hearn, 1850-1904）（小泉八雲）にまつわるお話をお願いしました。ご存知の通り、彼はギリシャ生まれの文筆家・ジャーナリストで、後に日本に帰化し、「小泉八雲」と名乗りました。明治時代の日本を愛し、島根・熊本・東京などで英語教師として教鞭をとる傍ら、『怪談（Kwaidan）』など、民間伝承や神話を題材に日本文化や精神性を西洋に紹介しました。天皇制そのものについて直接論じた作品は少ないのですが「日本的精神」や「神道・仏教・儒教の融合」といった日本文化の核に触れ、出雲大社の千家尊紀宮司と信頼関係を築き、神道の神髄、天皇への敬愛の念を持つにいたります。その記述には、天皇制を支える精神的な土台（敬神・家族制度・伝統的道徳）への理解や共感が見られ、彼は天皇制の「文化的基盤」を欧米人として最も深く掘り下げた人物の一人とも言われています。

ボナー・フェラーズ（Bonner Fellers, 1896-1973）はアメリカ陸軍の准将であり、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）でダグラス・マッカーサーの側近として知られますが、1922年、日本からの留学生渡辺ゆりに八雲の著作を薦められ、2冊を購入し、その後すべてを読破したと言います。1930年小泉家（妻セツと長男一雄）を訪ね、1938年再来日の際、急速に交友を深めました。凡さんの名前が「ボナー」から名付けられたことはある種、特筆すべきことと思います。ボナー・フェラーズは、太平洋戦争終結後の日本占領政策において、天皇制の存続に重要な役割を果たしました。天皇を戦争責任から免責する方針を推進（天皇の退位や処罰を避け、占領統治を円滑にするため）、「天皇制の維持は日本の安定に必要」とする報告書をGHQに提出しました。昭和天皇と間接的に接触を持ち、マッカーサーと天皇の歴史的会見（1945年9月）の布石を築いたと言われています。

1973年のラジオインタビューで「私の知る限り、天皇を裁いてはならないと考えていたのは私一人だった」「私は本当に天皇を理解している数少ないアメリカ人の一人だった」と自負している。「その理解の基礎は何か」と問われ、「ラフカディオ・ハーンだ。私はハーンのあらゆる著作を持っている。すべて読んだ。140冊ほどあると思う。彼が私に日本を教えてくれた」「ハーン以外の作家は？」に対して「ない、彼一人で十分だ。ほかにだれも必要じゃなかった」と語っています。

戦後80年の節目の年に、小泉八雲と妻セツの生涯が放映されることは我々日本人にとって、八雲が戦後日本の恩人であることを再認識させられると同時に、日本人の寛容さ、やさしさが八雲をどれ程癒したのかを思い出させる好機となると信じています。

これから、朝の挨拶は「ばけばけ」と元気に声を掛け合いましょう！

（耳鼻咽頭科医）

「家族交流BBQを楽しむ会」

親睦・出席委員会主催
場所：佐藤尚士会員自宅
日時：9月20日（土）
午後4時30分から